

# 講座のふりかえり

## 本講座を受講して、「よかった」と思ったことは何ですか？

まちづくりを行うために、ただ交わる人を増やすのではなく、地域の特色を生かし、理想の姿を目指して計画を練るという手順を知ることができました。また、豊実のまちづくりに実際携わった佐藤さんの貴重なお話を聞いて嬉しかったです。人生を楽しくするという情熱を見習いたい、自分も楽しく生きてみようと思えることができ、前向きな気持ちになれたのがとても良かったです。

午後の話し合いの時間を 50 分と長めに設けてあり、1 人 1 人が十分に発言する機会があって良かったです。また、ファシリテーターの大滝さんが上手く誘導してくださって、話し合いがやりやすかったです。

いつも参加したいと思っても、距離や時間でなかなか参加できずにいたので参加できたことが、とても嬉しかったです。

久々に、いろいろな方の話を聞いて刺激になりました。

佐藤氏の話により、過疎地で生きるための心構えを学べた点。※沢山の金言をありがとうございます。

危険だからやらないのではなく、安全な方法を考えて実践する（やらない言い訳をつくらない）。

お金をかけずに、在るものを生かす。

自分の覚悟を見せれば人はついてくる（仲間ができる）。

不便を不便と思わない

来るものを拒まず精神（去る者追わず精神）

人のために自分の理想を追い求めて実現していく精神。

オンラインでのワークショップの進め方を学ぶことができた点。

ブレイクアウトルームに初めて参加しオンラインでのグループワークの雰囲気がわかった。

チャット機能により、質疑応答の意見集約を効率的に行えること。

まちづくりワークショップのアプローチを学べた点

街歩きの重要性（具体的な手法は話し合い事業で経験させていただきたいと思います）

ご当地文化は自然が元になっていること（自然⇒歴史・文化理解）。

他の地域にはない特異性を切り口とする。

話の脱線も重要であること。

実際に活動している人の具体的なお話が聞けたこと。また、それをどんな視点で見たり聞いたりすればよいか、最初に説明やシュミレーションがあったことも良かったです。

写真や画面も事前に見ることができて、当日の話が入ってきやすかったこと。

グループが少人数だったので、話し合いがしやすかったです。

それぞれの発表に対して、佐藤賢太郎さんのコメントが聞けたこと。

とても長い時間でしたが、交流会もあって和やかな雰囲気だったこと。

遠くの方と繋がりができたことも、オンラインならではよかったです。

人を知ることができたこと。

賢太郎さんのお話を聞き始めると、最初は違和感があったのですよ。でも徐々に引き込まれてしまいました。オンライン上での会話で、こんなに引き込まれたのは初めてでした。媒体が何であれ、内容の質が高ければ素晴らしいものになるんだなど。

佐藤さんの活動を知った事。色々な意見を聞けた事。特に、オンライン講義の問題点など。

Zoomでのオンライン会議がなかなか使える事が分かった。グループミーティングなどへの移行もスムーズでしたし。

オンラインでもある程度、講座が開催できるコトがわかったこと。特にブレイクアウトルームは、機械的にスピーディーにチェンジできるので、時間のロスがない。短時間で次々と展開していけば、大勢の人とオハナシできる。

色々な意見が聞けて良かったです。楽しかったです。

地域づくりへの関わり方は異なるものの、地域を盛り上げたいという同じ志を持つ皆さんと交流できたこと。

過疎地域で自ら地域づくりを実践している佐藤さんの貴重な話を聞けたこと。

まちづくりの最前線に立って活動されている方と対話ができること。

## 「残念」または「もっとこうだったらよかった」と思ったことは何ですか？

特にありません。大変満足しています。

うなずきなど「良いね」といったことが伝わったか心配だったこと

1人ずつしか発言できないので、前の人の話に引っ張られることがあります。ポストイットのように書く時間も大切な事に気づきました。

ファシリテーショングラフィックを常時確認できれば、議論を的確に行えた可能性がある。

今現在、どんな流れで進んでいるのか、言葉の繋がりが見えるとよりわかりやすいと思いました。ファシリテーショングラフィックの簡単なコツや書き方を少し教えてもらってからの方が、頭に入ってきやすいかと思います。もしくはファシリテーターの方が書いていくのが見えているといいのかなど。用紙の固定も。(途中ちょっと退出しても理解しやすい)

自己紹介カードを丁寧に書かなかったこと。

参加者のみなさんとオンライン上でお話をする際、自己紹介カードがとても必要になりました。

なのに、僕はあまり丁寧に書いてなかった。反省しています。

特にありません。

私自身も含めて慣れていない人が多いので、ミュートの対応など注意が必要。また、事前資料はあらかじめ印刷して当日用意するなどのことを事前に周知した方が良いと感じた。

後日、まとめの表をPDFで貰えたら良かったです。

初めてのオンライン開催ということもあり、マイクの不具合等により情報交換に支障が生じたこと。

佐藤さんのほかに、地域で活動されている地域おこし協力隊といったプレイヤーのお話も聞いてみたかった。

## 講座での学びを、今後どんな形で活かしていけるとおもいますか？

誰かに地域の良さを発信する前に、自分が地域の固有性やストーリーに気付くべきだと分かりました。また、学びをそのまま他の人に伝えるのではなく、地域のストーリーを自分で解釈ができるようになってからこそ、人に伝えられるようになると感じました。まずは、参加者としてまちあるきに参加したいと思います。

佐藤さんのお話の中で、「ない時はどうするか考える、不便だと思うから不便」という言葉に心を打たれました。普段私は、今あるものでどうするか考えるより先に、たりないものを買ってくるという生活をしているなど改めて気づきました（食材や小分けの袋など、無駄になってしまうこともしばしば）。日頃からもものに頼り切らず、自分で考え、工夫する力が必要です。まちづくりを通じて誰かを楽しませる土台として、自分が楽しく生活してみようと思いました。

自然やアートを使った子どもの活動へのノウハウがたくさんあり、そのまま参考にします。

県職員として、今実施中の事業において、地域住民の皆さんに「楽しい」を経験できる「場」を提供する。

地域の一員として、地域づくりワークショップを自分で実践してみる。

「新しいまちをつくるつもりで」と佐藤さんのお話にあったように、自分のやりたい事は自分主導でやっていく。そしてやっぱり仲間づくりが大事だなあと思いました。想いを語り合える場、仲間をつくるため、自分軸を定めてぶれずにやっていくこと。

なにより楽しむこと！そこから形が見えてくるのかなあ・・・。

知識として頂いたこともたくさんありました。大事に生かします。でも楽しい時間だったので、これから何に生かそうかなあと考えなくてもどっかで何かになると思います。

自分の地区の今後の活動を具体化する時に活かしたいと思います。お祭りだけではないのだ。他の何かを考える際に活かしたい。

自分の田舎を有効活用したいです。

ワークショップの進め方や論点の整理方法など、現場での実践に活かしたいと考えています。

地域とディスタンスを取りながら客観的に見つめ直し、新しい可能性を見出す考え方を身に着けることで、地域の良さや再発見に繋げて地域の人がワクワクしながら参加できる地域づくりの場づくりができる中間支援組織にしていきたい。

**その他、まちづくり学校に対するご要望や講座の中で言いそびれたことなど、何でもお書きください。**

ファシリテーショングラフィック、1枚の紙に凝縮されていてわかりやすいなと感じました。カラフルなものも見ていて楽しくなりますね。初オンライン開催で準備も大変だったかと思います。運営の皆様、本当にありがとうございました。

懐かしいみなさんにそのまま受け入れていただいて感動しました。また、新潟に行きます！

短い間でしたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

最初のゆるやかな関係づくりの自己紹介で、今の状態のバロメーターを表すのがありましたが、とてもよかったと思います。顔色や体調、緊張具合などが見えにくいので、オンラインだからこそ心配りが大切になってくると思います。

途中であまりお話をされていない方に意見を求めたり、言葉をひろったり、交流会などのやりとりもあって、置いてけぼり感もなく参加できました。

前回やったときのように、時間内にまとめる！言葉を集約する！ファシリテーショングラフィックが上手く書けない！とか漢字が出てこない！とかの緊張がなかったので、だいぶリラックスして聞くことに集中できました(笑)

同じ部屋に角度の異なるカメラが二台あると、その場の雰囲気が立体的に伝わるんだなど。

金子さんの後ろ頭がかわいすぎだなあということまで伝わりました。

オンライン講義は良い面もあると思います。例えば、源氏物語の講義であれば、講義上手な人の講義を、何パターンか用意しておいて、好みに応じて聴けば良いと思う。大教室に人を集めて一方通行の講義をする意義は、私はあまり感じない。スタディサプリの講義ってレベル高いし、私みたいな高齢者が聴いても感心する。米国のLynda.comのDeke McClellandの一連の講座などは素晴らしい。このあたりをもっと話してみたかったと思っています。

メインはリアルの実践研修がいいと思うが、修了生などに対するフォローなどの場としてオンラインを組み合わせることも有効だと感じた。養成講座のアップデートとして活用してはどうでしょうか。

来年はオンラインではなく現地で出向き体験体感したいです。

地域づくりコーディネーター研修会を行っている「地域づくり団体全国協議会」や「地域活性化センター」とのつながりについて知りたい。